

第 45 回高知女子大学看護学会の報告

令和元年 7 月 20 日に『人生百年時代の看護の SHIFT(シフト)』をテーマに、第 45 回高知女子大学看護学会が高知県立大学池キャンパスにて開催されました。

当日は卒業生・修了生をはじめ県内外の看護職者 153 名のみなさまの参加をえて、活気ある学術集会となりました。



野嶋学会長の挨拶



高知県看護協会会長 藤原様のご挨拶



高知県立大学同窓会会長 梶原様の挨拶

講演

天使大学副学長の高木廣文先生を講師に「人生百年時代と健康格差—特に「死」の健康格差」と題し、ご講演いただきました。

講演は、健康格差の問題が経済格差に起因するものとして対策が試みられていることが紹介され、果たしてそれだけで、格差の根本的な解決に至るのだろうかという問いから始まりました。さらに死に焦点をあてると、スピリチュアル、すなわちキリスト教的な考え方が中心となり論じられていますが、日本人にとってのスピリチュアルとは如何なるものなのかと問いが進み、四国にも関連深い弘法大師空海の思想の解釈が語られました。1200 年以上前に執筆された空海の思想の新しさに驚き、私たち日本人の中にあるスピリチュアルを考えさせられる講義でした。

講演後のアンケートでも、「日本人として日本の人々の宗教的な思いや「信仰」と自覚していなくても根底に流れているものなど、援助専門職として自分自身の視野を広げることの重要性に気づかされました。又、そういった看護師を育てるの必要性を感じました。」「普段聞くことのできない宗教についての話題にふれることができ興味深かった。患者－看護師間の宗教観について、スピリチュアルについての看護師の素養について考えさせられた。」「私にとって、全く新しい切り口の話で新鮮でした。」などの意見が寄せられました。



高木先生のご講演



会場の様子

ワークショップ

午後からは以下の7つのワークショップが開催され、70名が参加されました。

ワークショップⅠ：人生百年時代に向けての仕組みづくり

ワークショップⅡ：人生百年時代 老年期の多様な生き方を支える

ワークショップⅢ：病と共に生きる百年

ワークショップⅣ：人生百年時代を担う子どもの力

ワークショップⅤ：人生百年時代のライフキャリア

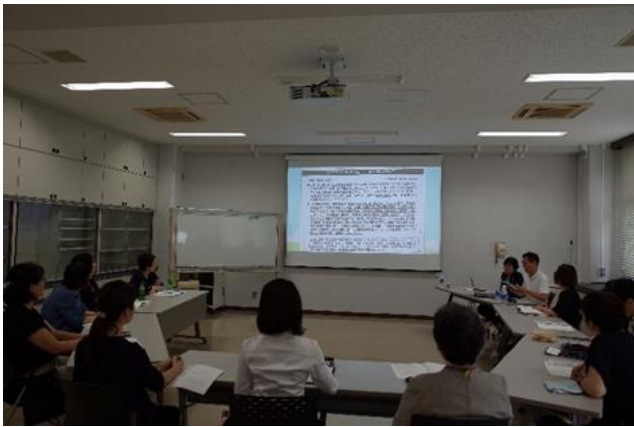
ワークショップⅥ：人生百年時代 新しいアプローチの開発

ワークショップⅦ：人生百年時代のキャリアデザイン

ワークショップでは、修了生や卒業生、教員の話者提供から、実践の体験をもとに各テーマに関する報告や発表がされ、参加者との意見交換が行われました。

「様々な立場の人の参加があり興味深かった。」「新たな知識、多角的な話がきけてあつという間におわり、残念でしたが、とても貴重な時間ありがとうございました。」「現在の医学看護の状況がわかり、課題の投げかけがある、とても充実した内容でした。」「こじんまりしていましたが、ディ

スカッションが十分できて充実感がありました。」「改めて、自分のキャリアについて考える機会になりました。」「ほぼ無知でしたので、とても勉強になりました。良いディスカッションでした。」「他職種の話が興味深かったです。」などの感想が寄せられた。



ワークショップⅠ：人生百年時代に向けての仕組みづくり



ワークショップⅢ：病と共に生きる百年



ワークショップⅣ：人生百年時代を担う子どもの力



ワークショップⅤ：人生百年時代のライフキャリア



ワークショップⅥ：人生百年時代 新しいアプローチの開発



ワークショップⅦ：人生百年時代のキャリアデザイン

総会

大学の生協食堂にてランチ形式で行われた総会には、56名の学会員が参加しました。議長には、田鍋雅子氏(学部38期生・修士13期生)と大黒美渚氏(学部47期生・修士13期生)が選出され、平成30年度の事業報告、会計決算報告、会計監査報告が行われ、いずれも承認されました。審議事項として、本年応募があった1名を奨学生とすることが提案され承認されました。続いて、令和元年度事業計画案について第45回学会と公開講座4回の開催について提案がなされました。学会員から公開講座について看護学部との共催や次のテーマの要望などの意見も出され、いずれも承認されました。令和元年度予算案についても承認されました。